

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒171-0021

東京都豊島区西池袋4丁目3番12号

□Publisher ZENSHIREN

TEL: 03-3971-0666

FAX: 03-3982-2913

E-mail: web-info@zenshiren.or.jp

皆様からのニュースのご提供を
心からお待ちしております。

全肢連情報はホームページ「響(ひびき)」でもご覧になれます。URL: <http://www.zenshiren.or.jp>

SNSで障害児・者、肢体不自由児・者の情報交換を **Facebook** <https://www.facebook.com/ZENSHIREN>

障害者基本計画 アクセシビリティ向上へ ~内閣府

内閣府は2月16日、2018年度からの第4次障害者基本計画をホームページで公表し、意見募集(パブリックコメント)を始めた。国連の障害者権利条約批准後初めての計画となることを踏まえ、条約の基本的視点「社会モデル」を反映。社会のあらゆる場面で障壁を取り除くため、アクセシビリティ(利用しやすさ)の向上を図る。

2020年の東京五輪・パラリンピックも強く意識した。3月2日まで意見を受け、政府は同月末までに閣議決定する。

日本が2014年1月批准した権利条約は、障害者が日常生活・社会生活で受ける制限は、心身の機能障害だけではなく社会におけるさまざまな障壁によって生じるという「社会モデル」を貫いている。

それを踏まえ、基本計画の案は、障害者が社会参加する際のアクセシビリティの向上を各施策分野の横断的な視点とした。具体的には「安心できる住居の確保」「移動しやすい環境の整備」「通信技術を活用して情報を得ること」を推進する。

住居の関係では、障害者など住宅確保要配慮者向けの住宅登録戸数を20年度までに17万5000戸とする目標値を掲げた。ノンステップバスの導入率は50.1%(2015年度)を2020年度までに約70%に引き上げる。

また、「障害に配慮した放送番組の普及」「聴覚・言語機能障害者がスマートフォンなどを用いて119番通報できるシステムの導入」などについても目標値を掲げた。

福祉サービス関連では、2018年4月からの新サービス「就労定着支援」の利用開始1年後の職場定着率を80%以上(2018年~2020年度)とした。精神病床における1年以上の長期入院患者数は18万5000人(2014年度)を14万6000~15万7000人(2020年度)に減らすとした。

目指すべき社会像は2016年7月に神奈川県立の障害者支援施設「津久井やまゆり園」で発生した入所者殺傷事件を念頭に「命の重さは障害の有無によって少しも変わらないという当たり前の価値観を国民全体で共有できる共生社会」とした。

このほか、横断的な視点としては「障害者施策の検討や評価にあたり障害者が参画すること」「障害のある女性、子ども、高齢者の複合的困難に配慮すること」などを掲げた。

障害者基本法に基づく障害者基本計画は、政府が障害者施策の基本的な方向を定める5カ年計画。第4次計画の案は、障害当事者や事業者団体代表者らが委員を務める内閣府の障害者政策委員会が検討を重ねていた。

障害者扶養共済制度（愛称：しょうがい共済）案内

本誌1月15日号（vol.658）にて紹介した「障害者扶養共済制度」。この度、国民に親しみを持ってもらうため、愛称を「しょうがい共済」として厚生労働省とWAMから広報啓発がスタートした。

また、より多くの方に制度を知っていただくため、保護者の意見を参考に「障害者扶養共済制度」が担うべき役割、税制上の優遇措置等のメリットをわかりやすく紹介したリーフレットが作成された。



<制度の主な特色(メリット)>

- ①保護者が死亡したとき又は重度障害になったとき、障害のある方に毎月2万円（2口加入の場合は4万円）の年金が生涯にわたり支給されます。
- ②付加保険料（保険に係る経費分）を徴収しないため、掛金が低廉です。
- ③掛金の全額が所得控除の対象となることから、所得税・住民税の軽減につながります。
また年金に対しては所得税、住民税、相続税、贈与税がかかりません。
- ④都道府県及び指定都市が条例に基づき実施している制度であり、（独）福祉医療機構が厚生労働省の監督の下、障害のある方に年金を支給するための資金を運用しています。

<年金と弔慰金>

- ・障害のある方に対して、生涯にわたり年金が支給されます。（毎月2万円、2口の場合は毎月4万円）
- ・1年以上加入した後、万一障害のある方が先に亡くなった場合には、加入期間に応じて、保護者に対して弔慰金が支給されます。この場合、すでに払い込んだ掛金は、返還されません。

【弔慰金】

加入期間	弔慰金
1年以上5年未満	5万円
5年以上20年未満	12万5千円
20年以上	25万円

※制度の見直しにより弔慰金が改定されることもあります。

<加入要件について>

（1）保護者の要件

障害のある方を現に扶養している保護者（父母、配偶者、兄弟姉妹、祖父母、その他の親族など）であって、次のすべての要件を満たしている方。

- ①その都道府県・指定都市内に住所があること。
- ②加入時の年度の4月1日時点の年齢が65歳未満であること。
- ③特別の疾病又は障害がなく、生命保険契約の対象となる健康状態であること。
（健康状態等によっては、この制度にご加入いただけない場合があります。）
- ④障害のある方1人に対して、加入できる保護者は1人であること。

（2）障害のある方の要件

次のいずれかに該当する障害のある方で、将来独立自活することが困難であると認められる方。（年齢は問いません。）

- ①知的障害
- ②身体障害者手帳を所持し、その障害が1級から3級までに該当する障害
- ③精神又は身体に永続的な障害のある方（統合失調症、脳性麻痺、進行性筋萎縮症、自閉症、血友病など）で、その障害の程度が①又は②の者と同程度と認められる方

<掛金月額>

掛金は、掛金免除になるまでの期間又は脱退月まで払い込む必要があります。なお、所定の期間、払い込みを滞納したときは、加入者としての地位を失います。

掛金月額は、加入時の年度の4月1日時点の保護者の年齢に応じて決まります。保護者

の年齢が若いうちにご加入いただくことで月額掛金は安くなります。

年 齢	掛金月額（1口あたり）
35歳未満	9,300円
35歳以上40歳未満	11,400円
40歳以上45歳未満	14,300円
45歳以上50歳未満	17,300円
50歳以上55歳未満	18,800円
55歳以上60歳未満	20,700円
60歳以上65歳未満	23,300円

※制度の見直しにより掛金が改定されることもあります。

※制度から脱退された場合はすでに払い込んだ掛金は返還されません。

・掛金の免除

次の2つの要件を両方とも満たした後の加入月から、掛金は免除されます。

①年度初日（4月1日）の保護者の年齢が65歳となったとき

②加入期間が20年以上となったとき

<税制上の措置等の内容>

（1）掛金

加入者が都道府県・指定都市に納める掛金は、所得税及び住民税ともに、小規模企業共済等掛金控除の対象として、その全額が所得控除されています。

【小規模企業共済等掛金控除について】

この控除を受ける場合は、確定申告書の小規模企業共済等掛金控除の欄に記入するほか、支払った掛金の証明書を確定申告書に添付するか提示することが必要です。なお、給与所得者は、「給与所得者の保険料控除申告書」に添付して給与の支払者に提出するか同申告書を提出する際に提示することになります。

（2）年金及び弔慰金

年金及び弔慰金は、所得税及び住民税ともに非課税の措置がとられています。また、相続税及び贈与税ともに非課税とされています。

<年金管理者について>

「障害者扶養共済制度（しょうがい共済）」は、加入者の方がお亡くなりになった場合などに、障害のある方に年金をお支払いする制度のため、年金給付手続きは、加入者以外の方が行うこととなります。

このため、障害のある方が、年金の請求手続きや、管理が困難であると思われる場合は、年金を受領し管理する「年金管理者」をあらかじめ指定することができます。（あらかじめ、年金管理者に指定される人の同意を得ておく必要があります。）

▽障害者扶養共済制度 案内の手引き▽

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000194447.pdf>

平成30年度通常総会（全国会長・事務局長会議）日程

<総 会>

*日 時：平成30年5月19日（土）12時受付開始 13時より開会

*会 場：「IKE・Biz」（旧豊島区勤労福祉会館） 6階 多目的ホール
東京都豊島区西池袋2-37-4 ▽池袋駅西口下車 徒歩10分

総会の詳しい案内につきましては3月1日発の公文書でお知らせしています。

ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願いいたします。

なお、平成30年度全肢連第1回理事会は同会場にて10時より開催の予定です。

さわやかレクリエーション&キャンプ ~29年度実施報告~

30年度もコカ・コーラシステムのご支援による「さわやかレクリエーション」の助成内定を受け申請受付を開始いたしました。(詳細は各県肢連宛の関係書類を参照のこと)

申請の際の参考資料として、平成29年度に各地で実施された内容の一覧を記載します。

A申請 18件 / B申請 79件

都道府県	請種別	事業名	参加人数
北海道	A	福祉避難所の仕組みと避難の仕方	61
	B	バーベキュー交流会とハンドアーチェリー	126
	B	クリスマスの集い	54
秋田県	A	地域の支援学校PTA会員と防災避難訓練を実施し交流を深めよう	27
岩手県	B	レジャー活動支援助成事業	27
山形県	B	クリスマス会	81
宮城県	B	さわやかレクリエーション秋のふるさと巡り	30
福島県	A	肢体不自由児者と家族の防災避難訓練等への支援事業	18
	B	親子の集い	27
	B	日帰りバス旅行	34
	B	音楽交流会	26
	B	レクリエーションゲーム	40
栃木県	B	日光市肢体不自由児者療育訓練	46
	B	日光市障がい者の会交流会	75
茨城県	B	こもれび 森のイバライド交流事業	11
	B	東海村心身障がい児者親の会 平成29年度ふれあい事業	28
	B	クリスマス会	56
千葉県	A	障害のある子どもと家族の防災避難訓練	54
	A	そなエリア東京での防災体験とお台場ランチ	77
	B	父母の会30周年記念事業・親子レクリエーション	72
	B	会員・ボランティアの外出体験研修	52
	B	クリスマス会	23
東京都	A	第4回障害者と共に考える地域防災のすすめ	101
	A	災害対策ワークショップ「ストロー建築で学ぶ地震に強い家」	17
	A	避難行動要支援者の防災と減災	105
	B	板橋区肢体不自由児者父母の会夏季バスハイク	58
	B	つながろう!地域の輪♪真夏のコンサート	90
	B	皆で楽しもうポッチャファミリー体験	21
	B	さわやかキャンプ(宿泊訓練)	31
	B	介助者のレベルアップ	30
	B	障害者保養センター「那珂川苑」一泊バス旅行	27
	B	父母の会一泊温泉バス旅行	24
	B	ボランティア交流クリスマス会	41
神奈川県	B	第2回上菅田ポッチャ競技会神奈川大会	142
	B	日帰りバス旅行『桃狩り』	22
	B	秋のレクリエーション「いこいの村あしがら」	29
	B	ハンドアーチェリーで交流活動	270
	B	みかん狩り	31
山梨県	B	家族音楽会	26
	B	秋の交流のつどい	25
長野県	B	バス旅行「世界遺産を見よう」	18
石川県	A	障害者と家族の、防災研修と、避難所体験	48
	B	河北都市卓球バレーで親睦の輪	36
	B	本人部会 力を合わせてバーベキュー	27
	B	みんなでいっしょに動物と触れ合おう	49
福井県	B	野外さわやかレクリエーション(療育事業)	19

岐阜県	B	さわやかレクリエーションINセントレア	41
静岡県	B	一日集中訓練	77
	B	クリスマス会	40
愛知県	A	愛肢連西三河ブロック療育キャンプ	64
	A	東三ブロックさわやかレクリエーションキャンプ	76
	A	愛肢連西尾張ブロック連絡協議会野外療育キャンプ	32
	A	災害時における父母の会会員の実行動についての体験事業	53
	B	親の会日帰り旅行	44
	B	さわやかレクリエーション	56
	B	野外例会	42
	B	父母の会東三河難病ネットクリスマス会	78
三重県	B	伊勢市肢体不自由児者父母の会支部行事(物作り)	25
	B	福祉研修会と親子宿泊訓練	40
	B	地域住民とのレクリエーション	50
滋賀県	A	肢体不自由児者とともに考える防災避難のための学習会	16
	B	猿回し鑑賞会	121
京都府	B	全国大会を振り返り、会員相互の親睦を深める事業	35
奈良県	B	本人たちの交流を深める事業(本人部会の活動)	29
	B	防災研修「命をまもるみんな助かる」	40
	B	親子のつどい	122
大阪府	B	会員研修「今、困っていること、不安なこと」&交流会	67
	B	「ラ・ラ・ラ クラブ」	44
和歌山県	B	平成29年度 障害児者親子の集い	572
兵庫県	B	さわやかレクリエーション	296
鳥取県	B	第11回「みんなのバリアフリーコンサートinくらしよ2017」	280
岡山県	B	さわやかレクリエーション ポッチャ大会・親睦会	22
	B	ハンドアーチェリー大会 親子親睦会	63
島根県	B	クリスマス会	66
広島県	A	防災に必要な品物を知ろう、避難してみよう	70
	B	蒜山、とっとり花回廊さわやかレク	30
	B	会員交流会(日帰り旅行)	66
	B	広島市西区父母の会バスハイク	31
山口県	B	クリスマス会(会員親睦会)	39
香川県	B	善通寺から見る星とバーベキューの夕べ	22
	B	本人部会交流会	18
徳島県	A	障害児の防災・減災について学ぼう！	540
	B	ハンドアーチェリーで交流活動	246
	B	親睦日帰りバス旅行	24
愛媛県	B	平成29年度松山肢体不自由児者父母の会クリスマス会	54
福岡県	A	民間資源を活用した「災害疑似体験および住まいの夢工場見学」事業	24
	B	野の花交流会	26
佐賀県	B	さわやかキャンプ	49
長崎県	B	長崎諫早地区 月例拡大版 一泊心理療育キャンプ事業	81
大分県	B	さわやかスポーツ大会	37
	B	地域連携「在宅肢体不自由児者を励ます集い」	33
熊本県	B	さわやかレクリエーション(フェリーで行く島原の旅)	62
宮崎県	B	大自然の中で乗馬体験を通じて親睦を深めよう♪	50
鹿児島県	B	姿勢ケア集中訓練&風船バレー	85
沖縄県	A	逃げるバリアフリー 「災害に合わせたフェーズを考える」	37
	B	さわやかレクリエーション(ハンドアーチェリー&バーベキュー)	61
	B	クリスマス会	44

*2018年さわやかレクリエーション事業実施予定の聞取りについて

2018年度も「さわやかレクリエーション事業」について日本コカ・コーラに申請をいたしましたところ、下記事業を対象に補助をいただけることとなりました。

【助成対象事業①】	『地域共生、地域連携』活動支援	助成事業
●対象事業となるテーマとキーワード(地域連携支援モデル事業/会員以外の参加者の拡充)		
・2020年オリパラに向けて、スポーツや芸術活動への参画		
・地域住民と考える様々な災害への備え(自助・共助への取組みの推進)		等への支援事業
【助成対象事業②】	『レジャー活動、余暇活動』活動支援	助成事業
●対象事業となるテーマとキーワード(支え合う仲間・気づき・笑顔)		
・レジャー活動、会員間の親睦、レクリエーション、外出機会		等への支援事業

まずは、2月26日付文書にて各県肢連宛にお送りしております回答書に、申請希望の有無を明記の上、3月20日(火)までに全肢連事務局までFAXにて回答下さい。

※申請しない場合も『申請しない』で回答をお願いします。

なお、ご質問、ご相談等ございましたら事務局までお願いします。

「平昌冬季パラリンピック」日本代表選手を応援しよう!

3月9日から18日に開催される平昌冬季パラリンピック。大会組織委員会は過去の冬季大会で最多となる49か国・地域から570選手のエントリーがあったと明らかにした。最多は米国の68人でカナダは52人。日本は38人、地元韓国は36人がエントリーしている。

日本代表選手は今大会の目標として前回大会のソチパラリンピック(金3銀1銅2)以上のメダル獲得を掲げる。長野から6大会連続出場の新田佳浩選手(クロスカントリースキー)、スーパー大回転で3連覇の期待がかかる狩野亮選手(アルペンスキー)らベテランから、17歳の高校生・川除大輝選手(クロスカントリースキー)、高橋幸平選手(アルペンスキー)らが出場する。

3月の行事予定

1日(木)	社会・援護局関係主管課長会議	厚生労働省中央合同庁舎
5日(月)	韓昌祐・哲文化財団助成授与式	東京国際フォーラム
	第2回医療的ケア児等医療情報共有基盤構築に係る検討会	ソトバツク・テクノロジー-会議室
7日(水)	厚労省・文化庁障害者の芸術文化懇談会	AP新橋虎の門会議室
8日(木)	日本の福祉を考える会	自由民主党本部
11日(日)	関東甲信越ブロック会長会議	山梨県石和市
14日(水)	障害保健福祉関係主管課長会議	厚生労働省中央合同庁舎
16日(金)	はげみ編集委員会	日肢協会議室
17日(土)	東北ブロック会長会議	岩手県盛岡市
20日(火)	コカ・コーラ教育・環境財団理事会	世界貿易センタービル
	第3回医療的ケア児等医療情報共有基盤構築に係る検討会	ソトバツク・テクノロジー-会議室
23日(金)	日本肢体不自由児協会理事会	日肢協会議室
	日本おもちゃ図書館財団評議員会	浜松町リコの会議室